

現代彫刻の変革者 湯原和夫展

存在の自由区

KAZUO YUHARA New Works
Liberated Zone of Existence

会 期：2008年10月18日(土)～2009年1月25日(日)

休 館 日：月曜日(ただし11月3日、11月24日、1月12日は開館)、

11月4日(火)、11月25日(火)、12月24日(水)、12月30日(火)～1月3日(土)、1月13日(火)

開館時間：午前9時30分～午後5時[入館は午後4時30分まで]

観 覧 料：一般800円(700円)、20歳未満と学生650円(550円)、65歳以上400円

*高校生以下と障害者の方は無料です。()内は20名以上の団体料金

会 場：神奈川県立近代美術館 葉山 〒240-0111 三浦郡葉山町一色2208-1 tel.046-875-2800

主 催：神奈川県立近代美術館

このたび神奈川県立近代美術館 葉山では、「現代彫刻の変革者 湯原和夫展——存在の自由区」を開催いたします。湯原和夫(1930-)は若い頃にフランスに渡り、およそ20年間、パリの環境に身を置いて制作し、その後も時代をリードする作品群を国内外で発表し続けてきました。厳しく研ぎ澄まされた感性と大胆な造形思考をもって生み出されたその抽象彫刻は、力強いスケール感があり、国外でも高く評価されています。

湯原和夫は古典的な彫刻では使用されなかったような素材、たとえば、フェルト、ガラス、鏡面ステンレス、あるいはコンクリートの敷石、ガードレールといった素材を見出し、物の存在をひたすら突き詰めて、その根源に近づこうとしつつ、作品の物質性を豊かに開いてゆきます。物がそこに在るという、一面ではひどく素っ気ない存在の様態を、美術のものに転化し、もともと物に過ぎない作品を、それ自体で自律する強固な作品空間に変容させてゆきます。その作品世界は、禁欲的であると同時にエレガントであり、またどこか官能的ですらあります。

本展では近年制作された立体作品を中心に、新作の壁掛けのペーパー・ワークなど、約50点を展覧いたします。厳しく、自己の造形を律しながら、ひたすらに造形の純化につとめてきた足取りを示す作品群と、あくなき挑戦の証しとしての新作群が展開されます。現代の美術の真摯な探究者が生み出す、稀有な質の高い造形世界を堪能していただければ幸いと存じます。

[関連プログラム] ◎湯原和夫氏によるアーティスト・トーク

日 時：11月16日(日) 午後3時から1時間程度

会 場：神奈川県立近代美術館 葉山 展示室

*予約不要、無料(ただし「湯原和夫展」の観覧券が必要です)。

◎担当学芸員によるギャラリー・トーク

日 時：11月2日(日)、12月21日(日)、2009年1月18日(日) 午後3時から45分程度

会 場：神奈川県立近代美術館 葉山 展示室

*予約不要、無料(ただし「湯原和夫展」の観覧券が必要です)。

◎葉山館 無料招待日

日 時：11月3日(月・祝) 午前9時30分～午後5時[入館は午後4時30分まで]

*当日、葉山館にご来館いただいた方は、無料でご観覧いただけます。

展覧会情報は、美術館ホームページでもご覧いただけます。
ホームページアドレス <http://www.moma.pref.kanagawa.jp/>

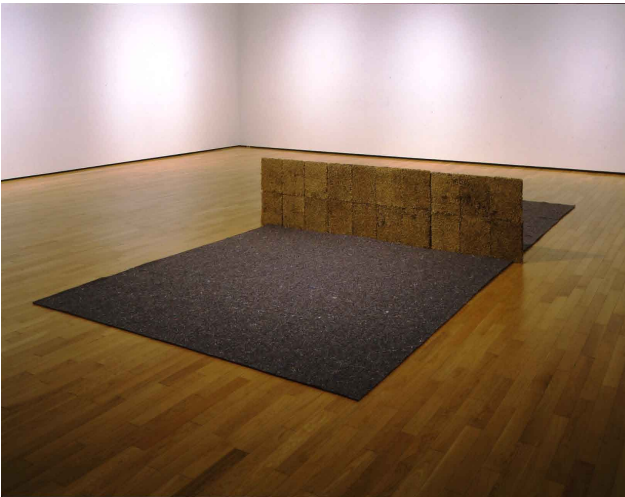
お問い合わせ先 神奈川県立近代美術館 葉山
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 tel.046-875-2800 / fax.046-875-2968
広報担当：山内、土居 展覧会担当：是枝、平井



《無題 '08-2》1997-2008年 鉄、亜鉛メッキ
撮影：上野則宏



《無題 '08-3》2006-08年 セメント、ガラス
撮影：上野則宏



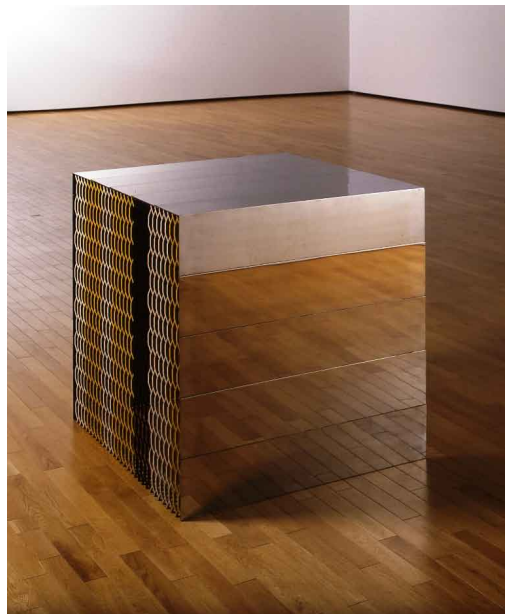
《無題 '08-4-2》2006-08年 フェルト、芝
撮影：上野則宏



《無題 '05-2》2002-05年 フェルト
撮影：上野則宏



《作品 No.2-05》2005年 シリコン、ガラス
撮影：上野則宏



《必然の形》1974年 鏡面ステンレス、メタル塗装
撮影：上野則宏